

11. 地域高齢者の居場所作り

グループ名 地域サロンハッピー

代表者 福島和子

① 活動の目的

高齢者が健康で長生き出来るためには、家に閉じこもって生活しているのではなく、社会へ出て仲間と交流し趣味を楽しんだり、健康維持のために体操をする事が必要である。また、生活上の悩みや相談ができたり、お互いに助け合う場も必要である。そのような場を住まいの近くに提供して、地域の活性化につなげることを目的とする。

② 活動概要

グループ代表者福島和子の所有する建物を利用して、同じ趣味を持つグループが1ヵ月に2回、曜日を決めて活動する。うたごえ喫茶、カラオケ、小物づくり、絵手紙、書道楽器演奏の他に健康体操や認知症カフェも実施している。その他にイベントとしてお正月飾りの作成、コンサート、講話も実施している。定例の会には1ヵ月の参加人数70名イベントには1回に30人位の参加人数となる。高齢者が利用するデイサービスと違いカルチャー的要素があり、脳が甦るようだと喜ばれている。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	指導者への交通費（1年分）10,000円×7人	70,000円
	カラオケセット	37,000円
	愛唱名歌（のばら社）1,080円×3冊	3,240円
	うたの世界（ともしび社）1186×5冊	5,930円
	イベント「お正月飾りを作ろう」経費、会場費	15,000円
	イベント「交流会（講話とお楽しみ会）」経費、会場費	20,000円
		円
		円
合 計		151,170円

活動実績

定例イベントとは

一般のカルチャースクールとは異なり同じ趣味を持つ人達が気軽におしゃべりをしながら一つの目標に向かって定期的に活動する事業。

公開イベントとは

特別な行事を不定期に実施し、誰でも自由に参加出来る事業。

定例イベント

平成29年9月～平成30年8月

グループ名	活 動 内 容	講師の数	実施回数	延べ参加人数
うたごえ喫茶	購入したテキストを用いてアコーディオンで歌う	1	毎月 2回	150人
絵手紙	講師の指導で基本から習う	1	毎月 2回	41人
実用書道	講師の指導でペン習字、筆ペン、宛名書きと進む	1	毎月 2回	67人
小物づくり	ミシンを使わず講師が用意した材料で、ぽんぼりや袋物をつくる	1	毎月 2回	147人

公開イベント

行 事 名	講師の数	実施日	参加人数
お正月飾りを作ろう	2	平成29年12月	14人
ハーモニカ演奏会	団体 1	平成29年10月	20人
カラオケ交流会 購入したカラオケセットを使用する		平成30年 1月, 7月	15人

